

平成30年 5月14日

関係各所属長 様

群馬県柔道連盟
会長 市川 平治

平成30年度群馬県ジュニア体重別柔道選手権大会
兼 関東ジュニア体重別柔道選手権大会群馬県予選の開催について

- 1 期 日 平成30年 6月 9日(土) 10時開会
- 2 会 場 ALSOKぐんま武道館 前橋市関根町800
Tel 027-234-5555
- 3 主 催 群馬県柔道連盟
- 4 参加資格
 - (1) 選手は日本国籍を有する者で、群馬県に居住、在勤、在学の条件のうち、いずれかを満たし、群馬県柔道連盟を通して(財)全日本柔道連盟に競技者登録している者。
 - (2) 平成10年(1998年)1月1日以降、平成15年(2003年)12月31日以前の出生者。
※平成30年(2018年)中に15歳~20歳になる者。
 - (3) 高校生の場合、男女ともに県強化選手(男子28名、女子16名)とインターハイ個人県予選(5/27)ベスト4の選手とする。また、出場階級は自由とする。ただし、男子55kg級と女子の44kgはインターハイに階級がないためにオープン参加とする。中学生の場合は県中学校体育連盟柔道専門部より推薦のあったものとする。その他、強化部が認めた者とする。
- 5 体重区分(男女ともに8階級)
男子: 55kg・60kg・66kg・73kg・81kg・90kg・100kg級・100kg超
女子: 44kg・48kg・52kg・57kg・63kg・70kg・78kg・78kg超
- 6 試合方法
 - (1) 体重別で各階級トーナメント法により行い。男子3名、女子3名を決定する。
 - (2) 国際柔道連盟試合審判規定(2018年1月1日)で行い、試合時間は4分間とする。
 - (3) 優勢勝ちの判定基準は「技有り」以上とする。技による評価が同等の場合は、延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。
 - (4) 申し合わせ事項として、「両者反則負」の場合、再度延長戦を行い勝敗を決する。
- 7 服 装
 - (1) 柔道衣は、全日本柔道連盟柔道衣規格に適合した柔道衣(上衣、下穿、帯)とする。
 - (2) 柔道衣は白色のみを使用し、背部に下記の要領でゼッケンを各自で縫い付けること。
 - ① 布地は白色(晒太綾)で、サイズは横30cm~35cm、縦25cm~30cmとする。
 - ② 苗字を上部2/3、所属を下部1/3にゴシック又は楷書で男子は黒字、女子は朱字で記載する。
 - ③ 縫い付けの場所は、後ろ襟から5~10cm下部とし、対角線にも強い糸で縫い付ける。
 - ④ ゼッケンの重ね縫いは禁止する。
 - (3) 女子の黒帯は、白線無しのものを使用すること。
- 8 計 量 試合当日 8時30分から9時20分までに会場にて行う。
男子: 柔道場 女子: 女子更衣室
計量方法としては、関東大会に準ずるため、一度きりの計量とする。
計量時間前であれば、何度計測しても良い。
- 9 表 彰 1位~4位の計4名を表彰する。
- 10 組合せ 平成30年 6月 4日(月) 18時30分より群馬県立前橋商業高等学校
において県柔道連盟強化部員で行う。
- 11 参加料 一人 1,000円 (当日受付時に集金)
- 12 参加申込・問い合わせ
出場選手は所定の申込用紙に必要事項を記入の上、平成30年5月31日(木)までに下記あてに下記あてにEメールと郵送の両方で申し込む。
〒371-0805 前橋市南町4-35-1 群馬県立前橋商業高等学校 小山勝由あて
Tel 027-221-4486 問い合わせ090-2640-6710(小山携帯)
Eメールアドレス koyamakatumjudo1969@yahoo.co.jp
- 13 その他
 - (1) 男子上位3名、女子上位3名の者は群馬県代表として7月8日(日)に埼玉県上尾市で行われる関東ジュニア体重別選手権大会に出場できる。また、参加料として2,000円を本大会終了後に集金する。
 - (2) 脳振盪対応について、選手および指導者は下記事項を遵守すること。
 - ① 大会前1ヶ月以内に脳振盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
 - ② 大会中、脳振盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。(なお、至急脳神経外科の専門医の精査を受けること。)
 - ③ 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
 - ④ 当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。